12月
定例議会

平成三年度一般、特別会計決算を認定
国保繰出金などの補正予算を可決

十二月定例議会は、十二月十五日に招集され、会期を二十二日までとして、開催されました。

この議会は、平成三年度の各会計の決算を審議する決算議会でもあります。

十五日の第一日目は、平成三年度決算に係る一般会計、国民健康保険特別会計、家畜診療所特別会計、下水道特別会計、老人保健特別会計、工業団地造成事業特別会計、総合体育館等用地先行取得特別会計の七件が提出されました。

また、平成四年度補正予算として一般会計の外、三会計の補正と土曜閉庁の実施に伴う条例の一部改正など三件が提案されました。

ところで、決算については、一般会計、特別会計とも決算審査特別委員会が設置され、そこに付託され審査されました。

第二日目の十六日は、決算審査のための特別委員会が開催されたほか、五名の議員が

・県道赤道線の歩道整備
・本村公教育の現状と課題
・保健医療福祉計画の策定
・国際交流
・エイズ対策

などについて質問をし、村執行部の考えをただしました。

十七日、十八日は、前日に引き続き、決算審査特別委員会が開催されました。

二十一日は、各常任委員会最終日の二十二日は、付託された平成三年度の各会計決算の審査報告がなされ、すべての議案は、原案どおり認定、可決、承認されました。

また、二十二日には、追加議案として、人事院勧告に伴う職員の給与等の改正についての条例改正並びに各会計の給与関係の補正予算が提案され、原案どおり可決されました。

おもな議案

■平成四年度一般会計補正予算（第三号）

歳入予算の総額に三千二百四十八万円を追加、四万五千円を減額し、歳出予算の総額に三千六百七十九万九千円を追加、四百三十六万四千円を減額し、歳入歳出予算の総額を二十九億六千六百三十二万五千円としたもの。

歳出の主なものとして、交通安全施設工事費、国民健康保険特別会計繰出金、老人日常生活用具給付事業、水田農業確立対策推進事業補助金、消防施設として防火井戸工事費、小学校の給食用ダムウェーター改修工事費となっています。

■平成四年度国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

歳入予算の総額に二千百七十万九千円を追加、七百三十九万九千円を減額し、歳出予算の総額に千五百六十七万九千円を追加、百三十六万九千円を減額し、歳入歳出予算の総額を五億七千九十三万二千円としたもの。

歳出の主なものとして、総合健康診断委託料と基金積立金です。

■平成四年度水道事業会計補正予算（第一号）

収益的収入、支出予算にそれぞれ二百一万五千円を追加し、総額を一億二千九百四十一万五千円としたもの。

歳出の主なものとしては消耗品費等です。

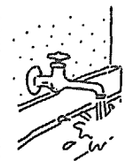
また、資本的収入、支出も工事費として七百万円の補正があり、総額は、二千四百万円となりました。

■平成四年度下水道事業特別会計補正予算（第二号）

歳入予算の総額に千百九十万円を追加、九十万円を減額し、歳出予算に千七百八十万円を追加、六百八十万円を減額し、総額を七億三千九百万円としたもの。

歳出の主なものとして、管渠布設工事費や施設補償費です。

交通事故防止に呼びかけるノボリ



水道管の凍結にご注意ください

家庭における水道管の凍結防止対策は万全でしょうか。

一月、二月は寒さが厳しいため、屋外、特に北側に面した風当りの強い所にある水道管には、しっかりと防寒処理をしておかないと水道の水が凍ったり、水道管の破裂事故につながります。

布、ビニールなどでしっかりと防寒の手当をしておきましょう。

また、凍結防止には水抜き栓を取り付けることが最良の方法です。

●凍って水が出ないとき

蛇口の栓を開き、凍った部分にタオルか布を巻きつけ、その上から、ゆっくりとぬるま湯を水が出てくるまでかけて下さい。

急に熱湯をかけると水道管が破裂したり、蛇口をいためたりしますので注意して下さい。

●万一破裂したとき

速やかに止水栓をとめて下さい。

その後で、村指定水道工事店（下表）へ連絡して下さい。

止水栓の位置は、水道メーターの近くにありますので、除雪などをして位置を確認しておきましょう。

●お願い

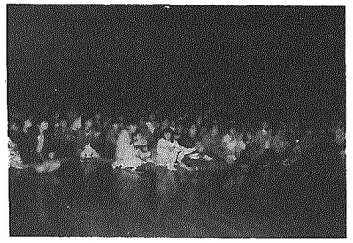
下水道を接続されている方は、冬期間も水道メーターを検針しますので、水道メーター周辺の除雪をお願いします。

横越村指定水道工事店

工事業者名	所在地	電話
㈱伊藤工業	京ケ瀬村大字窪川原二四三番地	(〇二五)六七一―六六
小木工業㈱	亀田町元町三丁目五番四三号	三八二―三二七一
風間建設工業㈱	亀田町砂崩三〇七番地	三八一―四九六二
神田設備工業	横越村大字横越三四四五番地	三八五―二三六九
㈲佐藤工業所	亀田町稲葉二丁目九番一号	三八一―三五〇七
新設工業所	亀田町曙町二丁目一番四七号	三八一―四六三三
山田水道工事店	横越村大字二本木二二五七番地の四	三八一―四六一四
蛭子産業急備工業㈱	新津市山谷南四五三五番地	(〇二五)二三―一六一二

生徒・家庭・地域が燃えた
横中生徒劇再上演

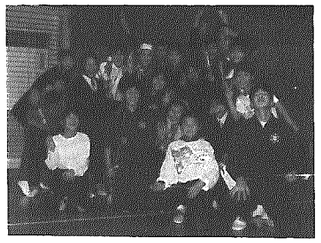
十一月一日の文化祭で上演した生徒劇「グッド バイ マイ…」が、村民のアンコールにこたえて、十二月十日中学校体育館で午後七時から再上演されました。


500人の観客がつめかけた中学校体育館

命の尊さを訴える「グッド バイ マイ…」

前日の九日に、新潟日報の下越版に「手作り劇 異例の再上演」ということで掲載されたこともあり、村内外から五百人余り集まり、文化祭の上演の時以上に観客を魅了し再び、感激のあまり、会場のあちこちで目頭をおさえる場面も見うけられました。

この劇を通して、中学生の本当の姿を見てほしいと生徒会中心に役者、スタッフ総勢四十余名が、この再上演に向けて、練習に励んできて、スタッフ一同、再上演後、観客と一緒に感激し、満足感にひたっていました。


上演後、満足感を体いっぱいに表す

「グッド バイ マイ…」
〈作〉小野川 州雄
〈演出〉坂井 美紀、阿達 美和、諸橋 厚子
〈キャスト〉伊藤 恵美子、藤田 智美、石倉 律子、武藤 牧子、貴船 洋子、仲村 秀和、田辺 希、鷲尾 涼、徳吉 仁、茅原 瞳、市村 祐子、豊崎 めぐみ、神田 美希子、神田 美代子、石井 知恵子、阿部 寿人、媚山 雄一、広瀬 悟、石井 優美 石井 香、清野 亜衣
〈音声、幕の開閉、ステージ照明〉山田 裕史、石井 誠 阿達 美和
〈大道具作り、セッテング〉石山 剛、杉本 祥文、広瀬 誠
〈協力〉諸橋 厚子、坪谷 和美、坂井 美紀
〈スポットライト〉鈴木 剛、市村 浩美、片山 秀典、五十嵐 美里、渋谷 武史
〈受付〉渋谷 智子、佐藤 智彦
〈体育館ライト〉五十嵐 先生

優秀賞受賞
「雑巾のぬるぬるの研究」

昨年、新潟県教育委員会主催の第二十七回新潟県児童生徒科学研究会で優秀賞を受賞したのは、平成四年一月号の広報よこごしで既報済です。

ところで、「雑巾のぬるぬるの研究」を引き続き研究してきましたが、このたび、中、高校生が研究した理科作品コンクール「第三十六回日本学生科学賞県審査（県教育委員会、読売新聞社など主催）に横越中学校科学部（代表 鈴木剛 部員十三人）が、その成果が認められ県学生科学賞の優秀賞に選ばれました。

この研究を指導しているのは、市村ひろみ教諭。二年間科学部で研究をしてきたが、雑巾のぬるぬるは、微生物がヨゴレ（えさ）を食べたため、できるのであって、ヨゴレ（えさ）がなくなると微生物が死ぬので、ぬるぬるをそのままにしておくと自然に消滅するのではないかという仮説をたてたそうです。

亀田商工会議所亀田珠算連盟主催
珠算競技大会結果
（横越村関係分）12/6 実施

個人総合（三位まで）104名参加

小学生の部
三年生の部
第二位 阿部 恵美子
第三位 阿部 天樹
四年生の部
第三位 鈴木 由佳里
〃 杵鞭 彩子
五年生の部
第三位 柳 さやか
六年生の部
優勝 入山 かんな
第二位 長谷部 玲香
優良賞
片山 裕美
本田 智美
小俣 ルミ子

横越村商工会珠算競技大会結果

十二月二十日、横越村商工会主催の珠算大会に小学校三年から六年まで七十名が日頃の腕を競いあいました。

結果は、次のとおり

総合個人 優勝
小学三年の部 仲村 紀子
小学四年の部 阿部 康明
小学五年の部 柳 さやか
小学六年の部 田辺 絵美

読上暗算 優勝
小学三年の部 仲村 紀子
小学四年の部 菊池 敦嗣
小学五年の部 羽賀 真理子
小学六年の部 遠藤 勝利

読上算 優勝
小学三年の部 小野塚 雄一
小学四年の部 菊池 敦嗣
小学五年の部 阿部 くみ子
小学六年の部 遠藤 勝利

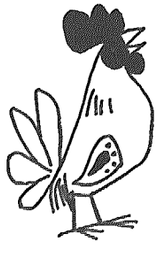
平成五年
新春俳句大会
大勢の方の投句を

恒例の新春俳句大会を一月十七日(日)午前十時より横越村中央公民館で開催します。大勢のご投句を歓迎します。

席題 ○小正月（こしょうがつ）
○笑初（えはじめ）
○櫟初（いちはじめ）

三題通して六句を、十七日午前十一時まで横越村中央公民館に投句してください。

※大会後、希望者による懇親会を用意してあります。（会費は昼食を含め千七百円）懇親会出席の方は、前もってご連絡ください。

短歌募集

▶歌題 自由
▶締切日 1月31日(土)
▶投稿方法
はがきまたは封書で6首以内、紙上筆名の際も原稿末尾には本名、年齢、住所を明記
▶あて先 横越村中央公民館「文芸作品係」